

総評

国語・英語・社会を中心に、全体に易しめの出題でした。5教科合計の平均点も高くなりました。

中1のはじめに学習した内容は、3年間の学習の中ではほんの一部ですが、受験に向けての学習を積み上げるための、土台ともいえるべき重要な内容です。基礎を固めておくと、今後の学習がスムーズになります。小さなミスも見のがさず、確認しておきましょう。

道コンのようなテストは、高校に合格できるかどうかを予測するためのものではなく、目標に対する現在の自分の位置を確認するためのものです。どんな目標も、これからの学習次第では、近づいたり、遠のいたりします。結果がよくても安心せず、結果が悪くてもあきらめずに、目標をはっきりさせて学習を進めることが大切です。

国語

やや易しい出題でした。

㊦は、漢字の読み「養蚕」、書き「民衆」「奮起」が難しかったようです。問四の文節も得点率が低くなりました。「文節」とはどのようなもので、どのように区切るのかをしっかりとおさえましょう。問三の(4)は、二文になるように書く問いですが、一文や三文で書いている答案が散見されました。設問中の指示を見落とさないように注意しましょう。

㊧の小説は読みやすく、全体によくできています。問一や問二のように空欄に当てはまる表現を書く問いでは、前後の表現との接続にも注意しましょう。

㊨は、問四の長い記述はよくできていますが、問二の書き抜きが難しかったようです。指定字数や空欄の前後に注意して書き抜きましょう。

数学

やや難しめの出題でした。計算問題はよく得点できていますが、全体に中難度以上の問いが多く、得点が伸びなかった人が多いようです。

正負の数の計算では、累乗の計算の誤りや、四則計算の順序の誤りが目立ちました。計算は、自分で見て確認できるように整理して書きましょう。

文字の式の分野は、これから学習する「方程式」の基礎となる内容です。㊣問1のような、数量を表す式を書く問題は、特に重要です。速さ、割合、代金など、たくさん問題に取り組み、表し方を身につけましょう。

㊤は、問題文が長く、図の読み取りも難しかったようで、得点率が下がりました。問2のように考え方を説明する問題は、問題文の中にヒントがあります。整理しながら読みましょう。

社会

易しい出題でした。

地理分野では、㊣問1(2)のアンデス山脈の暮らしについて答える問題が特に難しかったようです。世界の国々の暮らしや地域の特徴をしっかりと確認しておきましょう。また、㊡問5(2)は得点率が低くなりました。資料を活用する問題の考え方を整理しておきましょう。

歴史分野では、㊦問5(1)が難しかったようです。国名を答えることはできていましたが、志賀島の位置を同時に答えることで難易度が上がったようです。国名やできごとだけではなく、場所なども関連づけて覚えましょう。また、㊨問6の記述問題は、「貴族が開墾した土地」などと書いている答案が目立ちました。法律名を覚えるだけではなく、内容も説明できるようにしておくと、今後の記述問題の対策にもなります。

理科

やや易しい出題でした。

今回は基本的な内容が多く出題されていました。間違えたところの他に、すぐに答えが分からなかったところや、悩んだところもしっかりと教科書などで復習して、今のうちに確実に身につけてください。

全体的に、記述問題はよくできていましたが、計算問題や、実験や観察の結果をもとにして思考する問題は得点率が低くなったようです。

計算問題は考え方を理解できれば、決して難しくはありません。得点源にできるよう今のうちに類題を解いて身につけておきましょう。また、思考問題の対策はくり返し演習をかさねることが重要です。暗記だけでは高い得点のはずめません。学習内容が多くなる前の今から取り組んでおくと、優位に立つことができます。

英語

全体としては易しい出題となりました。今回は履修範囲が狭く出題内容が限られていたため、易しく感じた人も多かったかもしれません。一方で英語のきまりにまだ慣れていない人もおり、大文字・小文字や符号などのミス、英単語のスペルミスも見られました。英語のルールに慣れることと、英単語を1つ1つ丁寧に書くことを意識して勉強していきましょう。また、今回は全体的によく得点できていたので、間違えた問題があった人は学習内容が少ない今のうちに復習して、今後に備えましょう。

㊡問2②は基本問題ですが得点できなかった人も多かったようです。曜日を表す英単語は頻出なので、しっかりスペルを確認しておきましょう。

㊡問4(1)もあまり得点が伸びませんでした。動詞wantの疑問文をしっかりと復習しておきましょう。